

目次

第一章 科学の現在……………7

1 科学を問うこと 7

2 科学とは何か 16

3 研究の方法 24

4 科学の現在 33

第二章 原子力の困難(1)……………41

1 原子力の現在 41

2 虚構的な科学 56

3 展望を失った科学 70

第三章 原子力の困難(2)……………85

1 巨大になりすぎた科学 85

2 プルトニウム 90

3 平和利用と軍事利用 100

4 巨大技術と差別 104

5 規模の問題 111

第四章 科学はどのように変わりうるか……………115

1 岐路に立つ 115

2 パラダイムについて 117

3 パラダイムの変換 120

4 エコロジーのパラダイム 125

5 コペルニクス革命 128

6 科学の相対化 132

7 パラダイム論をこえて 133

第五章 新しい知の地平……………139

1 認識の方向づけをめぐる 139

2 好ましさに向けた方向づけ 142

3 新しい知のイメージ 162

4 原発反対運動の流れの中から 167

第六章 ATⅡもう一つの技術をめぐる……………177

1 ATについて 177

2 CATの実践 180

3 第三世界におけるATの芽ばえ 185

4 ATは変革の力となりうるか 194

5 おわりに 199

あとがき